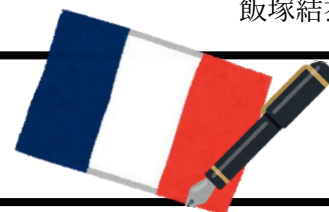


フランス便り

～2019年3月～



【はじめに】

Bonjour! ストラスブールに留学中の飯塚です。最近のストラスブールは晴れると20℃近くになりますが、雨が降ると1℃近く下がり春と冬を行ったり来たりしています。3月下旬の週末はぽかぽかとい天気だったので、ケバブ屋さんでケバブサンドを買ってオランジュリー公園にピクニックに行きました。オランジュリー公園は18世紀に作られたストラスブールの中でも大きい公園でジョセフィーヌ宮(ナポレオンの妻のジョセフィーヌに捧げられた住居)や湖、小さな動物園もあり、ストラスブールの鳥であるコウノトリもたくさん生息しています。オランジュリー公園にはたくさん花が植えてあり、桜も咲いていました。残念ながら桜はかなり散っていましたが、桜の木の下では日本と同じように家族連れがピクニックをしていました。公園には日向ぼっこをしたり、歌を歌ったりしている人など思い思いにくつろいでいる人がたくさんいました。私もとても静かでゆっくりとした時間を過ごすことができました。ちなみにこの公園の近くにはEUの欧州議会もあります。中に入れないので写真だけ撮って帰りました。

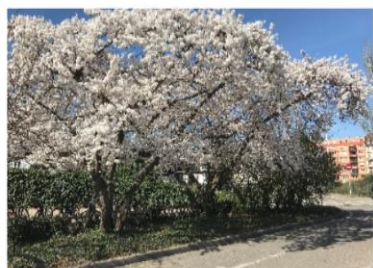
私はフランスでは桜の花見ができないと思っていましたが、オランジュリー公園以外にもストラスブール市役所やレピュブリック広場などたくさん場所でお花見をすることができました。私が住んでいる寮にも桜の木が植えてあり、フランスでも桜は春の風物詩として身近な存在だと感じました。



ジョセフィーヌ宮とその周り



公園内には保護されているコウノトリや野生のコウノトリが面白いほどたくさんいます!



ストラスブール市役所の桜



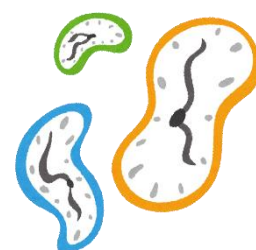
EUの欧州議会



湖の周りではたくさんの人が日向ぼっこをしていました。

【夏時間】

フランスでは3月の最終日曜日の3月31日に冬時間から夏時間になりました! フランスには夏時間と冬時間というものがあります。これは太陽の出ている時間を有効活用するために施行されているもので、ヨーロッパの多くの国で利用されています。夏時間は4月～10月、冬時間は11月～3月と決まっています。夏時間から冬時間へ変わるときは時計を1時間戻し、冬時間から夏時間へ変わるときは時計を1時間早めます。(今回は冬時間から夏時間へ変わったため午前1時59分から1時間飛んで午前3時になりました。ちなみに夏時間から冬時間へ変わるときは午前2時59分から1時間戻し再び午前2時になります。) そのため日本との時差も変わり、冬時間では8時間差だったのが夏時間になった今は7時間差に縮まりました。日本では夏時間や冬時間がないため季節の移ろいととも日照時間の変化を楽しむことができますが、フランスでは強制的に変わるため冬時間から夏時間へ変わった日や夏時間から冬時間へ変わった日は何だかとても変な感じでした。フランスの今の日照時間は7時前から20時過ぎくらいになり、大分長くなってきました。夏は22時ぐらいまで明るいので、それを楽しみにしながら過ごしています。



【Tram(トラム)について】

ストラスブールには Tram(トラム)という路面電車のような電車が走っています。このトラムはストラスブールが環境問題の視点から車を減らすために導入したもので、世界からも LRT (軽量軌道交通) 導入の街づくりの成功例として注目を集めています。ストラスブールはこのトラムとバスが街中に張り巡らされており、トラムはおおよそ 10 分おきに来るため移動手段が徒歩しかない私にとってとても便利です。日本の電車と違うところは信用乗車方式をとっているところです。信用乗車方式というのは公共交通機関を利用するときに乗車券を乗客自らが管理し乗車券の改札などを省略する方式です。この信用乗車方式はヨーロッパの国でよく用いられているようです。そのため改札がなく切符の確認をされません。その代わりに切符を買った後、自分で刻印機に切符をかざして切符を有効にする必要があります。よく抜き打ちで切符の確認をする人がトラムに乗って来ることがありますが、切符を持っているだけではダメで、きちんと切符が有効になっていなければなりません。もし有効にするのを忘れた場合は切符を持っていない人同様に罰金をとられます。乗り方は停留所で切符を買う→刻印機に切符をかざして有効にする→トラムに乗るといった感じです。(降りるときももちろん改札はありません。) 運賃は 1 時間で約 230 円です。そのためどこで乗り換えても 1 時間以内ならどこまででも行けます。(ちなみに 1 時間以内なら同じ切符でバスにも乗ることができます。) ストラスブールのトラムは A 線～G 線の 7 路線ありますが、D 線に乗ればドイツまで行くこともできます。私は 1 年間乗り放題の定期券(約 3 万円)を購入したのでトラムにもバスにも乗り放題でとても助かっています。



真ん中を走っているのがトラム



刻印機と切符発券機



刻印機



トラム&バスの切符です(素材は紙!)
赤→トラムの発券機で購入
黄色→バスで購入
(どちらもトラムとバス両方乗れます)
右側は私が購入した定期券です。

しかし、トラムに対する不満も少しあります。それはいろいろな部分が適当に処理されているところです。私がトラムで体験した 3 つの出来事を紹介します。

①トラムの出発時刻

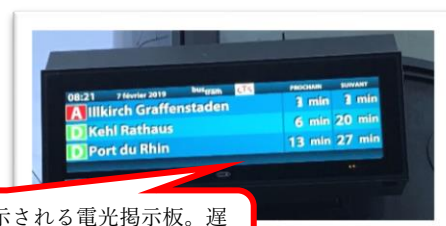
フランスに行く前から時間にルーズなことはなんとなく予想していましたが、想像以上でした(笑) 私は通学にトラムを利用しており、毎日アプリを使ってトラムの出発時間を調べています。だいたい同じ時間に来ますが、2,3分遅れてくることは当たり前です。それだけではなく、いつもと同じ時間に駅に行ったのにも関わらず 1 分前にトラムが出発していたこともありました(笑) でもそれがフランスの文化だと思い、特に気にしていませんでした。私はずっとアプリを使っていたのでトラムの時刻表をきちんと見たことがなかったのですが、先日調べて驚きました。日曜日と祝日の時刻表は普通だったのですが、平日と土曜日の時刻表には 7 時～19 時までの間の時刻が書いてありませんでした。代わりに書いてあったのは、青の期間は 5 分～10 分おきに、緑の期間は 6 分～10 分おきにトラムが来るという情報でした。(日にちによって青の日と緑の日があったようで色分けされたカレンダーも一緒に載っていました。)まさか時刻表がないとは思ってもいなかったのととても衝撃を受けましたが、それと同時に今までの出来事にも納得することができました。

②トラブルがあったときの対応が適当

ある日、いつも通り駅に行くとトラムが遅れていました。いつものことなのでさほど気にしませんでした。いつまで経ってもトラムが来ません。駅には電光掲示板があり、あと 2 分後に到着すると表示されていたのにその 1 分後に見るとなんとあと 5 分になっていました。その後も減ったと思えば数分後にまた増えたりと来るのか来ないのかわからない状態が続きました。これには私も周りの人もかなりイライラしていました。結局 30 分近くその状態が続き、語学学校にも間に合わなくなりそうだったのでトラムを諦め学校まで走ることにしました。(途中でトラムが復活したので 6 駅走ってから乗りました。)

この日以外にもなにかトラブルが起こったときは、電光掲示板のトラムが到着する部分が? マークになったり、“トラムへようこ

そ！”という表示になるだけで、トラブルの内容、到着予定時刻や復興の目処があるかなどの情報が駅には全くありません。そのため、その表示が出たときはトラムを待つべきか学校まで走るかの選択を迫られます。今まで何回も走っている途中にトラムが復活して追い越されるということがあったため、最近“急がば回れ”の精神でおとなしく待つことにしています。



何分後にトラムが到着するか表示される電光掲示板。遅延したときに撮影したのでA線のところは？の表示になっています。

③トラムの行き先の表示が適当

ある日、語学学校から帰宅するために駅でトラムを待っていました。私がある駅はA線とE線のトラムしかこないはずなのにやってきたのはD線のトラムでした。思わず2度見しましたが、行き先もばっちりD線の終点場所が表示されており、トラムの中の表示もD線と書いてありました。私の寮の最寄り駅はA線とD線のトラムが通っているのでそのまま乗りましたが、一旦乗ってから行き先を確認し慌てて降りていく人もいました。ところが、何駅か過ぎた時に行き先の表示を見るとしれっとA線に変わっていました(笑)降りるときも確認したのですが、どうやら表示を間違えていたらしく外側もA線に変わっていました。車内放送もなかったので気づいていない人もたくさんいるだろうなと思ながら寮に帰りました。

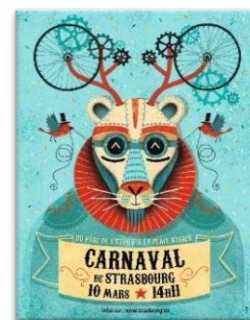
このほかに、トラム同士がすれ違う時に怖そうな車掌さん同士が笑いながら手を振りあって挨拶していたり(晴れの日のみんなサングラスをかけています)、駅の前でトラムが何車両も渋滞していたりと日本ではなかなか見ることができない風景を見ることができています。文化の違いに驚きながらも今はそれを楽しみながら生活しています。



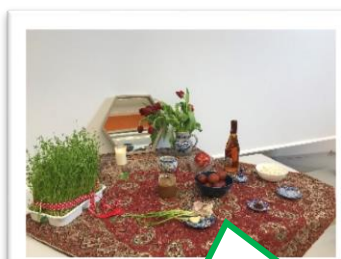
カーニバルの日の屋台。ホットワインやわたあめなどいろいろ売られていました。

【CARNAVAL DE STRASBOURG】

ストラスブールでは毎年この時期に春の訪れを祝うCARNAVAL DE STRASBOURG(ストラスブールのカーニバル)が開かれています。このカーニバルは数十年の間アルザスに根付いているもので、様々な仮装をした人や山車がパレードをしながらストラスブールの市街地の中心にあるクレペール広場に集まります。私はこのカーニバルをとっても楽しみにしていたのですが、当日は朝からずっと強い風が吹いていたため残念ながらカーニバルは中止になってしまいました。寒い日でしたが出かけてみると街はたくさんの人で賑わっており、子ども達はキャラクターや動物、お姫様などの仮装をして楽しんでいました。(着物の仮装をしている女の子も見かけました!)また、ストラスブール大聖堂の近くの広場ではメリーゴーランドや屋台が出ていたり、近くではおじいさんが楽器を演奏しそれに合わせて通りすがりの人が踊っていたりとそれぞれが春の訪れを楽しんでいるようでした。



路上コンサートをしていたおじいさん達。ツィンバロンという楽器を演奏していました



ペルシャ語(イランの公用語)でSから始まるものが飾られています。おせちのようにそれぞれに意味があります。

【nowruz(ノウルーズ)】

nowruz(ノウルーズ)というのはイランのお正月です。私の通っている語学学校にはイラン人の生徒がたくさんいます。そのため3月にイランの正月をみんなでお祝いすることになりました。3月22日(金)のテスト後にみんなでホールに集まり、ノウルーズの説明を聞いた後、イランの伝統楽器の演奏を聞き、最後にイランのお菓子を食べながらお話をしました。ノウルーズでは頭文字がSで始まるものを7つ飾るようでホールにも実際に飾り付けがありました。私は留学するまでイランについて全然知らなかったのですが、イラン人の友達ができただけでイランやイスラム教について直接いろいろ教えてもらうことができとても勉強になっています。

ちなみに演奏しているのは私のクラスメイトです!

【おわりに】

フランスでは日常的にマスクをする文化が無く、次々と友達が風邪になり不安を感じていましたが、なんとか今のところ元気に過ごせています。(マスクをしている人をまだ1度も見てません。)私の留学ももう半分を過ぎましたが、残りの時間も元気に過ごしていきたいと思えます。それではまた!

